

研究業績

荻野 亮吾

(2019 年度～2021 年度)

【書籍】

- 荻野亮吾「地域における高齢者学習」堀薫夫編『教育老年学』放送大学教育振興会、213-229 頁、2022 年 3 月。
- 荻野亮吾『地域社会のつくり方：社会関係資本の醸成に向けた教育学からのアプローチ』勁草書房、2022 年 1 月。
- 荻野亮吾「民間非営利団体との連携・協働」山本珠美・熊谷慎之輔・松橋義樹編著『社会教育経営の基礎』学文社、139-151 頁、2021 年 1 月。

【論文（査読あり）】

- 似内遼一・荻野亮吾・梅本大輔・松村優・櫻井理加・細萱一立・遠藤良顕「郊外住宅地に住む高齢者の外出を維持する地域戦略のあり方に関する一考察」『福祉のまちづくり研究』22 (Paper) 号、2021 年 3 月。
- 荻野亮吾「With コロナ時代における地域のつながりづくりの方法」『日本公民館学会年報』17、57-65 頁、2020 年 11 月。
- 中川友理絵・荻野亮吾「日本の高等教育における地域と連携した学習 (Community-Based Learning) の研究動向」『日本地域政策研究』25、34-43 頁、2020 年 9 月。

【論文（解説論文・紀要等）】

- 高瀬麻以・荻野亮吾・似内遼一・深谷麻衣「地域コミュニティを対象にしたアクション・リサーチ論のレビュー」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』6 巻、140-162 頁、2022 年 3 月。
- 八木信一・荻野亮吾「『飯田市公民館活動記録』の分析：地域自治組織設立後を対象として」『経済学研究』88 巻 4 号、69-135 頁、2021 年 12 月。
- 荻野亮吾・似内遼一・高瀬麻以・深谷麻衣「地域づくり分野と都市計画分野におけるコミュニティ・エンパワメント手法の比較」『佐賀大学教育学部研究論文集』6 巻 1 号、121-156 頁、2021 年 9 月。
- 菅原育子・荻野亮吾・久保田治助・堀薫夫「地域コミュニティにおけるコミュニティ・エンパワメント手法の比較」『西武文理大学サービス経営学部研究紀要』38 巻、77-90 頁、2021 年 7 月。

- 荻野亮吾・中川友理絵「大学と地域のパートナーシップの質と地域に与える影響の評価方法の検討：高等教育機関における地域と連携した学習に関するレビューから」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』5巻、103-121頁、2021年3月。
- 荻野亮吾・八木信一「自治の質量とまちづくりの飯田モデル：地域自治（運営）組織への示唆として」『佐賀大学教育学部研究論文集』5巻、193-212頁、2021年1月。
- 荻野亮吾「公民館の事業構想：地域のソーシャル・キャピタルを育む拠点として」『社会教育』887号、14-20頁、2020年5月。
- 荻野亮吾「サードセクターを巡る近年の研究動向」『生協総研レポート』91号、14-30頁、2020年2月
- 荻野亮吾「子どもの貧困対策における官民パートナーシップの可能性」『日本生涯教育学会年報』40号、25-41頁、2019年11月
- 荻野亮吾「社会関係資本」、日本環境教育学会・日本国際理解教育学会・日本社会教育学会・日本学校教育学会・SDGs市民社会ネットワーク・グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン編『事典持続可能な社会と教育』教育出版、127、2019年7月

【学会発表】

- 荻野亮吾「地域自治と教育福祉の再編下における高齢者学習支援」日本社会教育学会第67回研究大会、オンライン発表、2020年9月11日。
- 荻野亮吾「地方創生下のコミュニティをめぐる『協働』論理の変容」日本教育社会学会第72回研究大会、オンライン発表、2020年9月5日。
- 荻野亮吾・中川友理絵「地域での学習の組織化に関する高等教育機関の取り組みの現状と課題」日本社会教育学会第66回研究大会、早稲田大学、2019年9月14日

【講演】

- 八木信一・荻野亮吾「再エネ条例施行後におけるエネルギー自治の展開：長野県飯田市を事例として」京都大学再生可能エネルギー経済学講座 第1回再エネ講座シンポジウム2020、オンライン発表、2020年12月14日。
- 荻野亮吾「長野県飯田市のエネルギー自治に関わる地域ガバナンスの構造：地域自治組織の制度的特徴と公民館の教育機能との関連」京都大学再生可能エネルギー経済学講座【部門B】2020年第2回研究会、オンライン発表、2020年8月31日。

【URL】

https://researchmap.jp/ryogo_ogino/

<http://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ja.67fc4a132bd6023459c123490551be02.html>